

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公表番号】特表2012-504359(P2012-504359A)

【公表日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2012-007

【出願番号】特願2011-528356(P2011-528356)

【国際特許分類】

H 04 B 1/40 (2006.01)

H 04 B 1/04 (2006.01)

H 03 F 1/34 (2006.01)

H 03 F 3/24 (2006.01)

【F I】

H 04 B 1/40

H 04 B 1/04 R

H 03 F 1/34

H 03 F 3/24

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月18日(2012.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項13】

ベースバンド信号をRF信号に変換する少なくとも1つの変調器(316, 320)を備え、ベースバンド周波数で動作するベースバンド信号処理ステージ(301)と、前記RF信号を増幅する少なくとも1つの増幅器(330)を備え、RFで動作するRF信号処理ステージ(302)と、を備える送信装置(300)における雑音を抑圧する方法(900)であって、

前記方法は、前記少なくとも1つの増幅器(330)の回りに接続されたフィードバックループ(333, 810, 336, 820)において実行され、

前記方法は、

ベースバンド信号成分と雑音成分とを含む増幅されたRF信号を取得するために、前記少なくとも1つの増幅器(330)の下流で前記RF信号処理ステージ(302)をタップするステップ(905)と、

前記タップされたRF信号をベースバンド周波数にダウンコンバートするステップ(910)と、

前記雑音成分を実質的に含む信号を取得するために、前記ダウンコンバートされた信号から前記ベースバンド信号成分を除去するステップ(920)と、

前記雑音成分を実質的に含む前記信号を、前記少なくとも1つの変調器(316, 320)の上流で前記ベースバンド信号処理ステージ(301)にフィードバックすることにより、前記雑音成分を抑圧するステップ(930)と
を含むことを特徴とする方法。